

匠 たくみ

のふるさと

会津

技と
祈りの
建築文化誌

平成30年4月28日 **土**
～ 6月24日 **日**

休館日 毎週月曜日 及び 6月19日(火)
※4月30日(月・祝)は開館
開館時間 9:30～17:00 (入館は16:30まで)
観覧料 一般・大学生500(400)円
高校生以下無料 ※()は20名以上の団体

福島県立博物館
〒965-0807 福島県会津若松市城東町1-25
TEL 0242(28)6000/FAX 0242(28)5986
E-mail general-museum@fcs.ed.jp
http://www.general-museum.fks.ed.jp/



■ 記念講演会 (参加無料・申込不要)

「奥会津地方の建築儀礼と職人巻物」

日時 5月20日(日) 13:30～15:00

場所 当館講堂

講師 宮内貴久氏(お茶の水女子大学教授)

「越後大工の会津への旅立ち」

日時 6月16日(土) 13:30～15:00

場所 当館講堂

講師 中村義隆氏(新潟郷土史研究会・新潟文化財鑑賞会顧問)

■ バスツアー (参加無料、昼食代のみ別途必要)

「知られざる会津の名建築をたどる」

日時 5月12日(土) 9:00集合 場所等は申込時にお伝えします

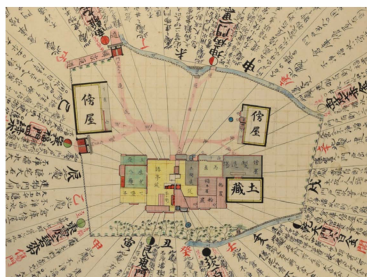
講師 小澤弘道氏(福島県民俗学会副会長)

定員20名 4月12日より電話・当館受付にて申込開始(先着順)

家づくりの技、道具づくりの心 いま明かされる、匠のふるさと会津



福島県会津地方には住まいに関する独特の文化が育まれてきました。^{うまやちゆうもん}厩中門造りとよばれる曲屋の民家、一人前の職人のみが伝授された巻物、火難除けの呪物や儀礼などはその代表的なものです。また職人の使う道具づくりの鍛冶技術も大きく発展し、^{とどろ}鋸鍛冶の中屋や刃物鍛冶の重房一門などの名工は全国にその名を轟かせました。県内外で活躍した屋根葺き職人の会津茅手や、越後から来て名建築を多く手がけた越後大工などの職人の出稼ぎにより、多様な文化も伝えられています。本展覧会では職人の技術や交流、儀礼や信仰などを通じて会津の建築文化に迫ります。



家相図（会津若松市）



突き鑿（初代・重道）
山岸清次コレクション



小荒井豊山筆「製鋸図」（部分）

I 木を伐り、家をたてる

山の神の祭祀者ヤマサキや木の伐り出し・加工を職分とするモトヤマ、木を刻み組む番匠^{ばんじょう}（大工）まで、会津に特徴ある建築職人の姿を紹介する。

II 神に祈り、家をまもる

一人前の職人が伝授される巻物、棟木に掲げられる性器型の奉納物、家屋敷の方位から吉凶を占う家相図など、家を築き守るための儀礼と信仰に焦点をあてる。

III 会津名工列伝

飯盛山のさざえ堂を建てた宮大工・山岸喜右衛門や鋸鍛冶集団「中屋」、会津刃物の隆盛を導いた重房一門など、江戸時代から名の知られた会津の名工たちを追う。

IV 屋根葺き集団 会津茅手

県内から関東にかけて多くの茅屋根を葺いてきた会津茅手の功績を、数々の資料から振り返る。

V 越後大工の活躍と会津

会津の民家や寺社などの名建築を生みだした越後大工の足跡を、道具や古文書などからたどる。



火伏せ（昭和村）



上棟式の矢羽根（岩浅松石筆）



大宝院不動堂（会津美里町）



越後大工が携行した
彫刻模型

■体験イベント

（一部有料・申込不要・当日随時受付）

「親子ものづくり木工体験」

日時 6月2日(土)10:00～16:00

場所 当館実習室

講師 会津若松市建築業組合の皆さん

■展示解説会

全て13:30～（要企画展チケット）

4月28日(土)・29日(日)

5月6日(日)・13日(日)・26日(土)

6月24日(日)

子どもミニミニ博物館

会期 4月28日(土)～5月6日(日)

場所 当館体験学習室

様々な木のおもちゃで遊べます



福島県立博物館

〒965-0807 福島県会津若松市城東町1-25

TEL 0242(28)6000 FAX 0242(28)5986

E-mail general-museum@fcs.ed.jp

http://www.general-museum.fks.ed.jp/